



「これからの学校づくりを進める追い風」

2学期が始まりました。朝、子どもたちが登校してくる姿を見ると、「学校の時間が動き出した」と感じます。夏休みを越えて、背が伸びている子、表情が大人びている子もいて、その変化にびっくりします。夏休みの間、教育界では「新しい学習指導要領の改訂」に向けた議論が進み、特別支援教育に関わる内容も大きく注目されました。社会の変化が加速する中で、子どもたちの学びをどう保障していくか——これは全国の学校に共通する課題です。

今回の改訂では、特別支援学校においても

- ・個別最適な学びの充実
- ・合理的配慮のさらなる明確化
- ・ICT 活用による学びの保障
- ・「社会参加」につながる力の育成

といった視点がより強調されています。子ども一人ひとりの特性を丁寧に理解し、その子に合った学び方を保障することが、これまで以上に求められる時代になってきました。こうした改訂の方向性が「これからの学校づくりを進める追い風」となると考えています。

本校では、子どもたちの「できること」だけでなく、「できそうなこと」を丁寧に拾い上げることを大事にしています。結果だけを見て判断するのではなく、なぜできたのか、なぜ難しいのか、その理由を一緒に探していくことが、子どもを理解するうえで欠かせないと私は思っています。これは“子どもをよく見る”という、とても温かい営みです。

2学期は、学習や生活、行事が次々と続いていく長い期間となります。この「続いていく感じ」が、子どもたちの成長にはとても大切です。

予測して、やってみて、振り返る。

この流れを繰り返すことで、子どもは自分の力を実感しやすくなります。このサイクルを学校の文化としてもっと根づかせたいと思っています。

環境づくりも、今年目標にしていることです。“いつでも・どこでも・だれでもわかる”学校にすること。

これは、子どもが安心して挑戦できるための土台です。教室の掲示、廊下の案内、動線のわかりやすさ——こうした細かな工夫が、子どもの「やってみよう」という気持ちを支えます。2学期も、環境の改善を進めていきます。

そして、地域とのつながりも大切です。学校が地域に開かれ、地域と一緒に教育をつくっていく姿こそ、支援学校の未来だと思っています。地域の人や場所に触れる経験は、子どもたちの世界を広げ、社会とのつながりを感じる大事な学びになります。

2学期も、高津支援学校の取り組み、子どもたちの歩みを一緒に見守ってください。どうぞよろしくお願いいたします。

校長 藤岡 歩



昇降口の靴箱が新しくなりました

本校の児童生徒用靴箱が新しくなり、昨年度リフォームした壁紙等と合わせて、明るい玄関になりました！

「変わったね」「新しくなったね」という児童生徒の声も聞こえました😊靴が取り出しやすくなり、自分の靴の確認もしやすくなったようです。

大切に使っていきたいと思います。

進路

夏休みが終わり、2学期が始まりました。児童生徒のみなさんの中には、「夏休みは家の手伝いをがんばった!」という方もいるのではないのでしょうか？

例えば、小学部段階から家庭の中でも役割をもち、手伝いをするということは、将来の社会生活の中でも生きていくことだと思います。学校生活の中でも、児童生徒一人ひとりが集団の中で自分の役割を持ち、学習に取り組めるような指導・支援を行っていくことが大切だと考えています。

そして、2学期は行事がたくさんあります。日々の授業だけではなく、様々な行事の取り組み等をとおして、児童生徒一人ひとりが自分の好きなことや得意なこと、興味があること、苦手なこと等について自己理解を深める機会になればと思います。

また、夏休み期間中には高等部1・2年生の保護者を対象に企業や福祉事業所の見学会を実施しました。ご家庭で進路について話合う際に、見学会をとおして知ったことや感じたことを役立てていただけたらと思います。卒業後の進路に向けて、様々な機会を活用しながら情報を収集していただければ幸いです。

進路担当 高橋 祐貴



50周年に向けて
カウントダウン!
アンケート no.4

よろしく～



高津支援 50 周年に向けて、アンケートをとっています!
ふるってお答えください(回答期間 9月25日～10月09日)

楽しみにしている行事やイベントはなんですか？

- ①学習発表会
- ②たかつマルシェ
- ③お出かけ関係(校外学習、遠足)
- ④お泊り関係(宿泊学習、修学旅行)
- ⑤秋の遊び場
- ⑥給食関係(リクエスト献立、給食選挙)

